



ふじ

～ 知 性 公 正 貢 献

地域運営学校

八王子市立第四中学校

学校だより 第8号

令和6年10月30日(水) 発行

TEL 042-622-7227

78期、79期、80期生が創る四中の伝統

校長 北川 大樹

(1)つなぐ伝統、大人の役割

本校は昭和22年に開校し、第1回の卒業式は昭和24年度末に行われました。この時の卒業生である1期生は、現在90歳になる頃です。地域の先輩方が脈々とつないできた本校ですが、2年半後の令和9年度から義務教育学校として開校することから、令和8年度末にその歴史を閉じることになります。それはちょうど四中が80歳になる年です。標題に敢えて「78期、79期、80期生」と表現したのは、本校が継承されてきた伝統を意識するためです。もちろん、78期生は現在の3年生、同じく79期生は2年生、80期生は1年生を指します。

さて、先日、本校の古い資料や金庫の中身を整理していたら、開校10周年から70周年までの記念式典の資料が見つかりました。40周年記念式典での代表生徒の原稿から、生徒らのみならず「私たち大人も受け取るべきメッセージ」がありましたので、抜粋して紹介します。



四中ボランティア(二小運動会)

…私は今、この第四中学校で個性豊かな友達にめぐり逢い、共に学んでいます。そして泣いたり笑ったりした毎日の中に自分というものを知り、少しだけ他人を理解することもできるようになりました。いつの時代の中学生も同じように友達のことを考え、悩み、傷つき、成長してきたのではないのでしょうか。

これから先の時代は、今の1、2年生と、それに続く下級生たちとが創り上げていくものです。私が望むことは、この中学生という貴重な三年間を十分に活用して、充実した日々を送ってほしいということです。自分の可能性を信じて、何事にもチャレンジできるのはこの時しかありません。

私たち三年生は、修学旅行の時、京都のお坊さんに次のようなお言葉をいただきました。

「今、頑張らなければ、あなたはいつ頑張るのですか」

中学校生活を大切に過ごすことが、第四中学校の素晴らしい伝統を築いてこられた、諸先輩方に対する感謝のしるしにもなるのです。これから創り上げられていくであろう、八王子市立第四中学校に期待したいと思います。

私たち大人の役割は、機を逸することなく、子どもたちがチャレンジできる安全・安心な環境を整えることなのだというのを改めて教えられました。

(2)「交流委員会」は29年目

私たちは、本校の過渡期を託された一員であり、その使命として、本校からなくしてはならない、引き継がなければならない特色や伝統を十分に理解しておく必要があります。その一つに「交流委員会」があります。そのルーツを探ってみます。



四中ボランティア(二小運動会)

昭和48年、市内で唯一の第三中学校ⁱ心身障害学級の生徒数が急増し、その生徒の多くが、遠距離通学を強いられる状況にありました。このような状況を解決する方法の一つとして翌年の昭和49年度より、市内2校目の心身障害学級として設置されたのが本校の「七組」です。『創立50周年記念誌 校譜』50周年記念事業実行委員会 p.61 に、「昭和52年頃から現在までの四中」というテーマで特集された5名の教員による座談会（平成9年4月19日実施）が掲載されています。そこに「交流委員会」のルーツに関わる「七組委員会」についてのやり取りがありましたので紹介します。

七組委員会

司 今年度から「七組委員会」という交流係を専門委員会に準ずる係でやっていますがそれらについて説明していただけますか。

○ 今までは七組からの一方的な「あれをしよう」とかいった交流だったのですが、おとし交流に関する意識調査を全校生徒、教職員、PTA の協力を得て実施しました。その結果、2, 3年生の半分位の生徒に、自分たちなりの交流に関する考えや意見のあるのが分かりました。それでそろそろ生徒たち自身が考えて、やっていくのも良いのではないかということになりました。それはつまり通常学級の生徒にしても、心障の生徒にしても在校中の数々の経験が卒業後や社会に出てからも様々に活かさせるのではないかと思います。昨年度1年かけて校内で検討し、今年度より七組委員会ということで始めました。

○ 参加する生徒たちは大変前向きで、ボランティアの大変さと大切さなどを解ってきていますね。これからも続くと良いですね。

平成9年度から専門委員会に準ずる係として設置された「七組委員会」は、現在「交流委員会」という専門委員会の一つとして引き継がれ、令和6年度で通算29年目となりました。ご家庭、地域でも「これまでどんなことをしていたの?」「今はどんなことをしているの?」「これからはどんなことができそうなの?」など、ちょっとマニアックですが、「八王子四中80年の伝統トーク」のきっかけにしてみてください。

ⁱ 心身障害学級とは、障害のある児童・生徒等一人ひとりの障害の種類や程度に応じて、都立盲・ろう・養護学校、区立養護学校と同様に、小・中学校に固定・通級の形態で設置される専門的な教育を行う学級です。国の「今後の特別支援教育の在り方について（最終報告）」（平成15年3月）において、障害の種類や程度に応じ特別な場で指導を行う『特殊教育』から、LD、ADHD、高機能自閉症等を含め障害のある児童・生徒一人ひとりの教育ニーズに応じて適切な教育的支援を行う『特別支援教育』への転換を図るという基本的な方向が示されて以降、心身障害学級を特別支援学級としています。



交流委員会による企画「給食交流」の様子





ふじ

～ 知 性 公 正 貢 献

地域運営学校

八王子市立第四中学校

学校だより 第8号

令和6年10月30日(水) 発行

TEL 042-622-7227

78期、79期、80期生が創る四中の伝統

校長 北川 大樹

(1)つなぐ伝統、大人の役割

本校は昭和22年に開校し、第1回の卒業式は昭和24年度末に行われました。この時の卒業生である1期生は、現在90歳になる頃です。地域の先輩方が脈々とつないできた本校ですが、2年半後の令和9年度から義務教育学校として開校することから、令和8年度末にその歴史を閉じることになります。それはちょうど四中が80歳になる年です。標題に敢えて「78期、79期、80期生」と表現したのは、本校が継承されてきた伝統を意識するためです。もちろん、78期生は現在の3年生、同じく79期生は2年生、80期生は1年生を指します。

さて、先日、本校の古い資料や金庫の中身を整理していたら、開校10周年から70周年までの記念式典の資料が見つかりました。40周年記念式典での代表生徒(大野久美子さん)の原稿から、生徒らのみならず「私たち大人も受け取るべきメッセージ」がありましたので、抜粋して紹介します。



四中ボランティア(二小運動会)

…私は今、この第四中学校で個性豊かな友達にめぐり逢い、共に学んでいます。そして泣いたり笑ったりした毎日の中に自分というものを知り、少しだけ他人を理解することもできるようになりました。いつの時代の中学生も同じように友達のことを考え、悩み、傷つき、成長してきたのではないのでしょうか。

これから先の時代は、今の1、2年生と、それに続く下級生たちとが創り上げていくものです。私が望むことは、この中学生という貴重な三年間を十分に活用して、充実した日々を送ってほしいということです。自分の可能性を信じて、何事にもチャレンジできるのはこの時しかありません。

私たち三年生は、修学旅行の時、京都のお坊さんに次のようなお言葉をいただきました。

「今、頑張らなければ、あなたはいつ頑張るのですか」

中学校生活を大切に過ごすことが、第四中学校の素晴らしい伝統を築いてこられた、諸先輩方に対する感謝のしるしにもなるのです。これから創り上げられていくであろう、八王子市立第四中学校に期待したいと思います。

私たち大人の役割は、機を逸することなく、子どもたちがチャレンジできる安全・安心な環境を整えることなのだというのを改めて教えられました。

(2)「交流委員会」は29年目

私たちは、本校の過渡期を託された一員であり、その使命として、本校からなくてはならない、引き継がなければならない特色や伝統を十分に理解しておく必要があります。その一つに「交流委員会」があります。そのルーツを探ってみます。



四中ボランティア(二小運動会)

昭和48年、市内で唯一の第三中学校ⁱ心身障害学級の生徒数が急増し、その生徒の多くが、遠距離通学を強いられる状況にありました。このような状況を解決する方法の一つとして翌年の昭和49年度より、市内2校目の心身障害学級として設置されたのが本校の「七組」です。『創立50周年記念誌 校譜』50周年記念事業実行委員会 p.61 に、「昭和52年頃から現在までの四中」というテーマで特集された5名の教員による座談会（平成9年4月19日実施）が掲載されています。そこに「交流委員会」のルーツに関わる「七組委員会」についてのやり取りがありましたので紹介します。

七組委員会

司 今年度から「七組委員会」という交流係を専門委員会に準ずる係でやっていますがそれらについて説明していただけますか。

○ 今までは七組からの一方的な「あれをしよう」とかいった交流だったのですが、おとし交流に関する意識調査を全校生徒、教職員、PTA の協力を得て実施しました。その結果、2, 3年生の半分位の生徒に、自分たちなりの交流に関する考えや意見のあるのが分かりました。それでそろそろ生徒たち自身が考えて、やっていくのも良いのではないかということになりました。それはつまり通常学級の生徒にしても、心障の生徒にしても在校中の数々の経験が卒業後や社会に出てからも様々に活かさせるのではないかと思います。昨年度1年かけて校内で検討し、今年度より七組委員会ということで始めました。

○ 参加する生徒たちは大変前向きで、ボランティアの大変さと大切さなどを解ってきていますね。これからも続くと良いですね。

平成9年度から専門委員会に準ずる係として設置された「七組委員会」は、現在「交流委員会」という専門委員会の一つとして引き継がれ、令和6年度で通算29年目となりました。ご家庭、地域でも「これまでどんなことをしていたの?」「今はどんなことをしているの?」「これからはどんなことができそうなの?」など、ちょっとマニアックですが、「八王子四中80年の伝統トーク」のきっかけにしてみてください。

ⁱ 心身障害学級とは、障害のある児童・生徒等一人ひとりの障害の種類や程度に応じて、都立盲・ろう・養護学校、区立養護学校と同様に、小・中学校に固定・通級の形態で設置される専門的な教育を行う学級です。国の「今後の特別支援教育の在り方について（最終報告）」（平成15年3月）において、障害の種類や程度に応じ特別な場で指導を行う『特殊教育』から、LD、ADHD、高機能自閉症等を含め障害のある児童・生徒一人ひとりの教育ニーズに応じて適切な教育的支援を行う『特別支援教育』への転換を図るという基本的な方向が示されて以降、心身障害学級を特別支援学級としています。



交流委員会による企画「給食交流」の様子



生徒会役員選挙・立会演説会

2学期は生徒会活動の中心が3年生から1、2年生に移行する節目です。9月25日（水）に生徒会役員選挙・立会演説会を開催しました。生徒会活動の本部役員を決めるため、7名の生徒が立候補し、演説をしました。それぞれ、四中をより良くしていくためにと熱の入った演説でした。演説を聞く生徒らの表情も真剣で、生徒全体で学校を盛り上げていこうという姿勢が見られました。選挙の結果、5人の役員が決定しました。

生徒会本部役員

会長

副会長

書記

演説の様子①



演説の様子②



演説の様子③



選挙管理委員から投票上の注意



道徳授業地区公開講座

9月27日（土）に道徳授業地区公開講座を実施しました。

本校が今年度の重点としている内容項目「生命の尊さ」を全学級で取り上げました。

授業後の意見交換会では、教員、保護者、地域の方と共に授業を振り返り、「豊かな心を持ち、しなやかに生きていく生徒を育てていくために」というテーマについて話し合いました。



小中一貫教育の日

今年度2回目の小中一貫教育の日を10月2日(水)に開催しました。今回は、市教育委員会研究指定校共同研究の研究会として、第二小学校と第四中学校それぞれの会場で研究授業と実践報告会をおこないました。第四中会場では児童・生徒会分科会の実践報告、SDGs分科会は3年生の総合的な学習の時間の研究授業をおこないました。

各分科会、研究協議ではお招きした各分科会で取り上げたテーマを専門とする講師の方から指導をいただき、今後の研究の方向性を確認することができました。

SDGs分科会研究授業



児童・生徒会分科会実践報



児童・生徒会分科会研究協議



SDGs分科会研究協議



合唱コンクール

10月10日(木)、J:COMホール八王子で合唱コンクールを開催しました。中間審査を終えた9月後半から本格的に練習を始めました。1年生は、始めはなかなか練習に気持ちが入らず、まとまらないこともありました。日を重ねていく内に「もっと上手になりたい」という気持ちが強くなり、練習に真剣に臨む姿勢が出てきました。2年生は2回目の合唱コンクールということで、昨年の経験を活かしながら、実行委員を中心に自分たちで練習に取り組みました。そして「昨年の3年生のような歌声を後輩に伝えたい」という思いをもつ3年生、放課後になると実行委員を中心に、すぐに練習を始めるなど意欲的に練習に取り組んでいました。

今回の合唱コンクールでは、例年以上に様々な方の協力をいただきました。本校特別支援学級の指導補助員、時間講師、第二小学校の音楽科教員、第二小学校こども学級指導補助員... 沢山の方に支えられながら、本番を迎えました。

本番当日、各学年・学級の合唱、吹奏楽部の素敵な演奏がホールに響き、感動いっぱいの合唱コンクールとなりました。フィナーレとして、お招きした第二小学校6年生と共に全員合唱「大切なもの」を歌い、会場が一体となったところで、合唱コンクールを締めくくることができました。

1年1組



1年2組



2年1組



2年2組





不登校をテーマとした保護者サロン

市教育委員会では不登校の子どもたちを支援するために、保護者対象の講演会を実施しています。講演の中で小グループに分かれ、参加者の皆さん同士で日頃感じている思いや悩みを語り合う時間も予定しています。どうぞお気軽にご参加ください。

- 1 対 象 市内在住 小・中学生の保護者
- 2 日 時 11月19日(火) 午後2時から午後4時30分まで
- 3 会 場 八王子市教育センター 大会議室
住所:八王子市散田町2丁目37-1 大会議室
- 4 内 容 講演「ゲームに夢中の子どもたち
～親としてゲームをどう考えるか」
講師:八王子市教育委員会教育指導課心理相談員
- 5 定 員 60名(先着順)
- 6 申込み 11月1日(金) 午前8時30分から受付開始
高尾山学園内 教育指導課登校支援担当

11月の予定

1	金	三者面談(3年) 貧血検査(2年)	16	土	
2	土	東京都教育の日 学校公開 地域総合防災訓練(1年) メディアリテラシー教育(2年) 芸能祭	17	日	
3	日	文化の日 八王子市中学校駅伝競走大会	18	月	安全指導 小中一貫教育の日
4	月	振替休日	19	火	
5	火	三者面談(3年)	20	水	専門委員会
6	水		21	木	避難訓練
7	木		22	金	横浜校外学習(2年 2年7組)
8	金	生徒会朝会	23	土	勤労感謝の日
9	土		24	日	
10	日		25	月	全校朝会
11	月		26	火	
12	火	期末考査	27	水	
13	水	期末考査	28	木	
14	木	期末考査 学校運営協議会15:00～	29	金	三者面談(1, 2, 3年)
15	金	弁護士によるいじめ防止授業(2年)	30	土	

全学年弁当持参